

9月

しいの実ぐみ
たんぽぽぐみ

ワラスだより

2023. 9. 28 円町まね保園

みずぐみ

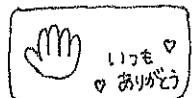
残暑というにはまだ暑い日が続いています。日中は気温の高い日が多いですが、季節は進み、セミの声も聞かなくなったり、夕方には秋の虫たちの鳴き声が聞こえています。食欲の秋、読書の秋、実りの秋、スポーツの秋など、色んな秋があります。子どもたちにとってはどんな秋になるのか楽しみです。



しいの実ぐみ

※ 祖父母への手紙 ※

ご協力ありがとうございます。今回子どもたちは手型を取って手紙に貼りました。手型は以前にも取ったことがあったのですが、取った手型の大きさにみんなまた一段と大きくなったと成長を感じました。また、以前は不思議そうにしていた子どもたちも慣れいて自分からバババタタタのようにスラングを角虫、アヒル、国語もつと握ったり指先でグニグニ角虫、アヒルと興味津々でいっしょに大きくなったとほい、またまた可愛い手型を貼った手紙が、あじいちゃん、おばあちゃん達喜んでもらえる嬉しいです。



※ 昔々歩でも成長を感じています。 ※

本格的な夏が過ぎ、秋を感じるような気候も増えてきたため、散歩も楽しんでいいます。大きい月齢の子たちはしっかりと歩くことができるようになってきた。靴を履いての散歩を楽しめるように目線が低くなると発見が増え、指差して教えてくれる。楽しい声が聞こえています。小さい月齢の子たちも座るころができるように、バギーに乗った時に目線が高くなり景色が変わるとまた表情がかわっているように思います。これから秋に変わり、見て楽しむことの出来る自然も増えてきます。それに気付いた時、子どもたちがどんな表情をし、何を感ずるのか楽しみです。

※ いろいろな気持ち、思いが芽生えてきています。 ※

最近、大きい月齢の子たちは、保育者が何かしているのを見て自分もやってみようと思ったり、やってみよう。保育者が何かを遊んでいると「貸して！やってみよう」とばかりに手を伸ばしてやってみようとする。出来たよと「やっ」と言ってきたり、一緒にやると「やった」と嬉しそうです。また、小さい月齢の子たちは、離乳食を手掴みで食べていますが、とちにはよくと選んで手掴み食べを始め、保育者が手掴みすると「今は大丈夫！」とばかりに首を振る。手掴みの時に自分でやりたい気持ちが伝わってきて、何でも積極的に挑戦してみようという思いを大切にしていきたいです。



たんぽぽぐみ

◎ 身体を動かして楽しい！

朝、みず組から季節の歌が聞こえてくると、オムツ替えのタイミングのたんぽぽ組の子どもたちも、ハッと耳を澄まし、ピアノやみず組の子どもたちの歌声に合わせて、くるくる回ったり、月車を屈伸させてリズムに合わせて身体を動かす姿があります。ピアノが聞こえてくると、自然と身体が動く姿や、楽しそうに表情に微笑み始める毎日です。

毎週(金)は季節交流で、みずぐみのみ組と週ごすこが、一緒に散歩に出かけたり、リズムをとりながら過ごしています。回数を重ねると、ごっこ遊びも増えてきて、友達と一緒に身体を動かす姿が、またさらに楽しく様子の子どもたちです。お部屋で遊んでいる時も、保育者が口でリズムの曲を口ずかすと「もっかい！とニコニコでリズムをとり、同じ曲が続くと「次はこれ！」とばかりに動きだしています。身体を動かすことが楽しい！と思える姿を大切に、色々な身体を使った遊び、リズムや運動遊び、戸外遊びを通して、全身をのびのび使って体幹の強い身体作りをしていきたいです。

◎ 成長とともに ※

「んじい、んやうい」と自分の思いが強く、いわゆる「だだこね」の姿が多く見られるようになってきた。この時期の「だだこね」は、前年のようにただ自分の行動が通らないというのではなく、相手の思いと自分の思いの間で、また「やうい」思い、「でやうい」思いの間で葛藤している姿でもある。そのため、子どもが自分で気持ちを整理できるように、踏ん切りをつける支えが必要。この支えがあると子どもは自分で気持ちを立て直すことができるようになります。思い通りに行かないと泣いている子どもに、怒鳴りつけるだけでは、ますます自分の気持ちや相手の気持ちも見えなくなり、パニックに陥ってしまう。反文に「よし、こい、ほい、ほい」とモノが与えられただけでは、本当の思いが誤魔化されてしまうかもしれません。日々の生活の中で、よくよく難しいですが、時には子どもが自分で気持ちを立て直して、くるくる回ったり、ちゅと落ち着いてから「こっちにしようか、あっちにしようか」と自分で決めて気持ちを立て直す姿が出来るよう、言葉かけをすることも必要。ついつい「もういいから」と大人がやってしまいがちな時も、「もういいからやめようか」と言葉かけを、ゆとり関わることを(園)でも「家庭でも大事にしていきたい」と思います。



みずぐみ

9月に入っても真夏のような暑さが続きましたが、屋上で水あそびやシャワーを楽しみ、暑さに負けず元気に過ごしました。又、乳児組と一緒に散歩に出かける機会も沢山ありました。最初の頃はみずぐみ同士で手を繋ぎたいと主張したり、バギーに乗る小さいお友だちを見て同じように乗車待ちをしていた子どもたちですが、回を重ねる度に「たんぽぽぐみと手を繋ぎたい気持ちや、歩ける！」という自信が大きくなってきました。

自分よりも小さいお友だちと触れ合う事で「お兄ちゃん、お姉ちゃん」という思いを以前にも増して感じている子どもたちです。そして、散歩中には前に通った時よりも柿の実が大きくなっている事や、花が咲いた事、たぬきの置き物、おじやらしetc...沢山の発見を楽しんでいます。お団子屋さんの前を通る時には必ず「これ食べた！」「食べた！」「おいしそう」と言うやりとりもお馴染みの姿となり可愛いです。これからどんどん歩きやすい気候になってくるので、散歩に沢山出掛けたいと思います。



『地震ぞーす!!』

子どもたちだけで「こあそび」が盛り上がりを見せる毎日。アイスクリーム屋さんや、お客さん、先生等、色々な人に変身して大忙しです。そんな中、突然「地震ぞーす!!」と叫ぶ子どもたち。何と!! 以前経験した避難訓練が始まったのです。丸くなって頭を押さえたり、口元に手を当てたりして忠実に再現されているこあそびに驚きました。自分たちが見た事や聞いた事を何でもあそびに変えていける子どもたちは本当にあそびの名人だ」と改めて感じます。

子どもたちが自分で着脱しやすいように服のサイズの見直し、又、名前が消えかけている物もありますので、今一度確認して頂き、全ての持ち物に名前の記入をお願い致します。

